

CentreCOM® Secure HUB SH510シリーズ

5年保証

10ギガ対応

IEEE 802.3at
PoE+ 対応

VCStack

AW
Plus

AMF

Switch

EPSR

LOOP
Guard

VCS

AMF
SEC



Non-PoE+ モデル
AT-SH510-28GTX
AT-SH510-52GTX



PoE+ モデル
AT-SH510-28GPX
AT-SH510-52GPX



カッパースタックモジュール(1m)
AT-StackXS/1.0



SFPモジュール
AT-SPTXa
AT-SPSX AT-SPSX2 AT-SPLX10
AT-SPLX40 AT-SPZX80
AT-SPBDM-A・B AT-SPBD10-13・14
AT-SPBD40-13II・14II AT-SPBD80-A・B



SFP+モジュール
AT-SP10T-Z1
AT-SP10SR・SP10LR・SP10ER40/II・SP10ZR80/II-Z1
AT-SP10TW1・3・7-Z1



マネージメントケーブル
AT-VT-Kit3

AT-SH510-28GTX
AT-SH510-28GPX

10/100/1000T
24Ports自動認識

SFP/SFP+
4Slots

AT-SH510-52GTX
AT-SH510-52GPX

10/100/1000T
48Ports自動認識

SFP/SFP+
4Slots

CentreCOM Secure HUBシリーズは、AMF非対応のデバイスとAMFネットワークをつなげるHUBとして最適なコストパフォーマンスと機能セットを提供します。AMFネットワークのエッジにCentreCOM Secure HUBシリーズを配置し、それらにAMF対応または非対応デバイスを接続することで、AMFによるネットワーク全体の統合管理を適切なコストで実現します。

CentreCOM Secure HUB SH510シリーズは、Non-PoEモデル、PoEモデルと様々なタイプのモデルをラインナップする10ギガビット・インテリジェント・エッジ・スイッチです。AT-SH510-28GTXは10/100/1000BASE-Tポートを24ポート、AT-SH510-52GTXは10/100/1000BASE-Tポートを48ポート、各モデルにはSFP/SFP+用スロットを4スロット装備したNon-PoEモデル、AT-SH510-28GPXは10/100/1000BASE-Tポートを24ポート、AT-SH510-52GPXは10/100/1000BASE-Tポートを48ポート、各モデルにはSFP/SFP+用スロットを4スロット装備したPoE+対応モデルです。

SFP/SFP+スロットは4スロットすべてを10ギガアップリンクとして利用可能であり、上位のディストリビューション、コア・スイッチに対して10ギガでの高速・大容量接続を提供します。

4スロットのSFP/SFP+スロットのうち2スロットにスタックモジュールを装着することでスタックポートとして動作、エッジ・スイッチでVCS (Virtual Chassis Stack) を実現し、エッジレイヤーでの機器運用管理コストの削減を実現します。

ファームウェアバージョン5.4.6-2.1以降にてAT-SecureEnterpriseSDN Controller (AT-SESC) に対応。AT-SESCによるアプリケーション連携ソリューション構築を実現します。

本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。弊社では、ネットワークマネジメントソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。弊社ホームページ (<http://www.allied-telesis.co.jp/support/list/nms/>) からダウンロードできます。

OPTION

SFPモジュール

SFP+モジュール

スタックモジュール

壁設置ブラケット

L字型電源ケーブル

コンソールケーブル

フィーチャーライセンス

特長

● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

● ネットワークインフラのユニファイド化

Allied Telesis Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMFは統合管理を行うAMFマスターと管理されるAMFメンバーからなり、次の5機能により、ネットワークの統合管理を行います。

● 一元管理 (セントライズドマネージメント)

AMFマスターから多数のAMFメンバーを一元管理します。

● 自動構築 (オートレジリエントコネクション)

AMFネットワークの自動構築およびAMFメンバーの自動認識を行います。

● 自動復旧 (スマートプロビジョニング)

AMFメンバー設置時の自動設定 (ゼロタッチインストール)、AMFメンバー故障時における交換機器の自動復旧 (オートリカバリー)、複数AMFメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

● 非AMF装置対応 (ワイドエリアバーチャルリンク)

非AMF装置の混在や広域商用回線を介したAMFネットワークの構築が可能です。さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMFメンバーの自動復旧にも対応します (ネイバーリカバリー)。

● 分散マスター処理 (AMFコントローラー)

AMFマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

SH510シリーズはAMFメンバー装置に対応しており、大容量のPoE受電デバイスを多数收容しての利用や、VCS構成で冗長性を高めた利用など、汎用性が高く、AMFネットワークとAMF非対応機器のエッジネットワークを接続させるHUBとしての役割を持つエッジ・スイッチとして最適です。

対応機能を絞り込むことで従来製品よりも低価格での提供が可能のため、AMFによる利便性・工数削減効果だけでなく、導入コストの削減効果を提供します。

● VCS (バーチャルシャーシスタック)

複数のスイッチを双方向40Gbpsの帯域幅を持つスタックモジュールで接続することにより、1台の仮想スイッチとして扱うことができます。

VCSグループは、最大4台のSH510シリーズを自由に組み合わせ合わせて構築できます。スタック接続されたスイッチはバーチャルIPアドレス/MACアドレスを用いてIPアドレス/MACアドレスを共有し、かつL2テーブル、QoS、アクセスリストなどの各種情報を同期することでVCS構成時のマスター/スレーブの高速切替を実現したVCSファストフェイルオーバー (VCS-FF) に対応しています。よって、仮に1台に障害が発生しても運用継続が可能となり、ネットワークダウン・セッションダウンにシビアな環境やアプリケーションへの適応が可能となります。また、VCSで接続されたスイッチはオールアクティブで稼働するため、ネットワーク資産の有効活用も実現します。

● EPSR

EPSR (RFC3619) は、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います (最短50ミリ秒未満)。また、EPSRスーパーラップリベンション (EPSR-SLP)、EPSRエンハンストリカバリー、独自開発のトポロジー変更時におけるQuery要求機能などにより、マルチキャストアプリケーションへの親和性を高め、かつ二重障害時をも考慮した可用性の高いリングネットワークの構築も可能です。

● 幅広い用途に対応

インテリジェント・エッジ・スイッチとして重要となるセキュリティ、認証、省エネ機能など豊富なレイヤー2plus機能に対応しながらスタティックルーティング機能を標準搭載した新しい特長を持つシリーズです。

● PoE+ (IEEE 802.3at) をサポート

従来のPoE (IEEE 802.3af) に加え、大容量給電が可能なPoE+ (IEEE 802.3at) に対応しております。装置全体として、370Wまで給電可能なため、PoE+対応無線LANアクセスポイントやネットワークカメラ等の様々なPoE+受電機器が接続可能です。クラス3 (15.4W) の受電機器を接続する場合、24ポートまで同時給電可能です。

● 10ギガビットイーサネットモジュール (SFP+) に対応

高速イーサネット技術「10ギガビットイーサネット」に対応。SFP+モジュール対応スロットを4スロット搭載しており、別売のSFP+モジュールを搭載することで、高速/大容量の10ギガビットイーサネット環境を提供します。

●充実したセキュリティー機能**・ 強固な認証機能をサポート**

同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。

- Tri-Auth、マルチプルダイナミックVLAN、L3モードエンハンストゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応

・ 多種多様なセキュリティー機能の搭載

通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。

- ポートセキュリティー、SSH (Secure Shell)、DHCPスヌーピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース (RADIUS/TACACS+ 認証) に対応

●ループガード

LDFやMACスラッシング検出など多彩なループガード機能により、接続ミスなどで発生したネットワークループを自動検出し、設定した動作 (ポートディセーブルなど) を自動実行するループガードに対応しています。

●保守運用性

USBオートブートをサポート。機器設定やファームウェアを保存したUSBメモリーから起動することで、PCレスで設定・ファームウェアバージョンアップ作業が可能になるため、機器交換時やメンテナンス時の作業負荷を軽減し、保守運用性の向上が図れます。

●ケーブル診断機能

ツイストペアケーブルの状態を診断し、異常を検知した場合はその箇所までの距離を表示します。

●AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC (AMF-SECurity) は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティー・アプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティー管理を自動化するソリューションです。

本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIOT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

※1 サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー (AT-SESC/SecureEnterpriseSDN Controller) です。AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

CentreCOM® Secure HUB SH510シリーズ

仕様				
準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3ae 10GBASE-ER/LR/SR*2 IEEE 802.3an 10GBASE-T*2 IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3af Power over Ethernet*3 IEEE 802.3at Power over Ethernet+*3 IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*4 IEEE 802.1Q-2003 GVRP IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree*5 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)*6 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol			
適合規格	安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1		
	EMI規格	VCCIクラスA		
	EU RoHS指令			
マネージメント*7	SNMP	SNMPv1/v2c/v3		
	SNMP MIB	MIB II (RFC1213), IP Forwarding Table MIB (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674)*8 Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411 ~ RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) PoE MIB (RFC3621)*3 Ethernet MIB (RFC3635) IEEE 802.3 MAUs MIB (RFC3636) Bridge MIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) VRRPv3 MIB (RFC6527)*9 Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057) Private MIB		
	RMON	1,2,3,9 Group		
	ターミナル	Telnet, VT100互換端末(コンソールポート経由)		
通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps/10Gbps*2			
ポート	—	[AT-SH510-28GTX]	[AT-SH510-52GTX]	
	10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)	× 24	× 48	
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half 固定設定、1000M Full 固定設定 MDI/MDI-X 自動認識、MDI/MDI-X 固定設定			
	SFP+ スロット	× 4*10	× 4*10	
	RS-232 (RJ-45コネクタ)	× 1*11	× 1*11	
	USB ポート (USB 2.0, タイプA(メス))	× 1*12	× 1*12	
	—	[AT-SH510-28GPX]	[AT-SH510-52GPX]	
	10/100/1000BASE-T (RJ-45コネクタ)	× 24 (PoE-OUT)	× 48 (PoE-OUT)	
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half 固定設定、1000M Full 固定設定 MDI/MDI-X 自動認識、MDI/MDI-X 固定設定			
	SFP+ スロット	× 4*10	× 4*10	
	RS-232 (RJ-45コネクタ)	× 1*11	× 1*11	
	USB ポート (USB 2.0, タイプA(メス))	× 1*12	× 1*12	
使用ケーブル	—	非PoE	PoE*13	
	10BASE-T	UTPカテゴリ-3以上	UTPカテゴリ-5以上	
	100BASE-TX	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上	
	1000BASE-T	UTPカテゴリ-5以上	UTPカテゴリ-5以上	
切替スイッチ	LED ON/OFF ボタン	LEDの消灯(エコLED)、通常動作の切り替え		
パフォーマンス	—	[AT-SH510-28GTX]	[AT-SH510-52GTX]	
	—	[AT-SH510-28GPX]	[AT-SH510-52GPX]	
	スイッチング方式	スタック & フォワード		
	最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte)	95.23Mpps	130.94Mpps	
	スイッチング・ファブリック	128Gbps	228Gbps	
	メモリー容量			
	フラッシュメモリー	64MByte	64MByte	
	メインメモリー	512MByte	512MByte	
	MACアドレス登録数	16K*14		
	VLAN登録数	4,094個 (VID=1 ~ 4,094)		
	IPv4ホスト(ARP)登録数	2K*14		
	IPv4ルート登録数	16*15		
サポート機能	AMFメンバー機能、AMFエッジノード機能、 IPv4スタティックルーティング(16ルート)、RIPv1/v2(16ルート)、 IPルートフィルター、ハードウェアパケットフィルター、ポリシーベースルーティング、 マルチホーミング、VLAN(ポートベース/IEEE 802.1Qタグベース/ IPサブネットベース/プロトコルベース)、マルチプルVLAN、GVRP、 QoS(IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、 ポートランキング(IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、 ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング、 スパニングツリー(IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、 BPDUガード、BPDUフィルター、スパニングツリーポートファスト、 PVST+Compatibility、イーサネットリングプロテクション(EPSR)、 EPSRエンハンストリカバリー、EPSRスーパーレープリベンション (EPSR-SLP)、ポート帯域制限、ポートミラーリング、ポートセキュリティー、 フローコントロール*16、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、 ループガード(LDF検出/MACスラッシング検出/受信レート検出 (QoSストームプロテクション))、パケットストームプロテクション、 IEEE 802.1X認証モード(Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)、802.1X暗号方式(MD5/TLS/TTLS/Multiple Authentication)、802.1X暗号方式(PEAP)、 ダイナミックVLAN、L3モードエンハンスト ゲストVLAN、 Auth-fail VLAN、マルチプルダイナミックVLAN、マルチVLANセッション、 MACアドレスベース認証、Supplicant MAC認証、Web認証、 プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証、 Web Proxy for Web認証、ポート認証設定テンプレート化、 ポート認証とDHCPサーバーの連携、ケーブル診断、RADIUSクライアント、 TACACS+ (Accounting/Authentication/Logging)、 IGMPv1/v2/v3スヌーピング、EAP/BPDU透過、Jumboフレーム対応*17、 バーチャルシャーシスタック、スイッチポートレゾリエンシーリング、攻撃検出、 DNSリレー、DHCPサーバー、DHCPクライアント、DHCPスヌーピング、 VRRP、Pingボーンリング、ARP、プロキシ ARP、ローカルプロキシ ARP、 ディレクテッドブロードキャスト転送制御、UDPブロードキャストヘルパー、 SMTP認証、ログ(外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、 NTPクライアント、Secure Shell、sFlow、 TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、 IPv6 Basic、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、 NTPv6クライアント、DNSv6クライアント/リレー、DHCPv6サーバー、 DHCPv6クライアント、DHCPv6-PD、RAガード、HOLブロッキング防止、 Findme、UDLD			
サポート機能	SES Ready ライセンス (AT-SH510-FL16)			
【ライセンス機能】	AT-SESCによるフロースイッチング制御*18			
LED	ポートLED*19			
	L/A	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅	
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、 パケット送受信時に点滅	
	D/C*20	緑	Full Duplexでリンク確立時に点灯	
		橙	Half Duplexでリンク確立時に点灯、 コリジョン発生時に点滅	
	PoE*23	緑	受電機器へのPoE電源供給時に点灯	
		橙	受電機器の異常発生時、ポートの出力電力が上限値を上回ったことによるポートへの給電停止時に点灯、 PoE電源の電力使用量が最大供給電力を上回ったことによるポートへの給電停止時に点滅	
	SFP+ スロットLED*19			
	L/A	緑	1000M/10Gbpsでリンク確立時に点灯、 10Gbpsでパケット送受信時に点滅	
	ステータスLED (7セグメントとドットによる表示)			
		緑	VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯	
		緑	VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に点灯 (数字はスタックメンバーID)	
		緑	ファンまたは内部温度の異常発生時に点灯	
		緑	LED ON/OFF ボタンによるLED OFF設定時に点灯。 横3セグメントは以下の状態を表示 上:スタックメンバーのマスターとして動作 中:VCS機能が無効で、単体で動作 下:スタックメンバーのスレーブとして動作	
		緑	USBメモリー接続時に点灯、 USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅	
		緑	本製品の起動中に点灯	
電源部	[AT-SH510-28GTX]	[AT-SH510-52GTX]		
定格入力電圧	AC100-240V*21	AC100-240V*21		
入力電圧範囲	AC90-264V*21	AC90-260V*21		
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz		
定格入力電流	1.0A	1.0A		
最大入力電流 (実測値)*22	1.1A	0.99A		
平均消費電力*22	44W (最大55W)	72W (最大89W)		
平均発熱量*22	160kJ/h (最大200kJ/h)	260kJ/h (最大320kJ/h)		

仕様

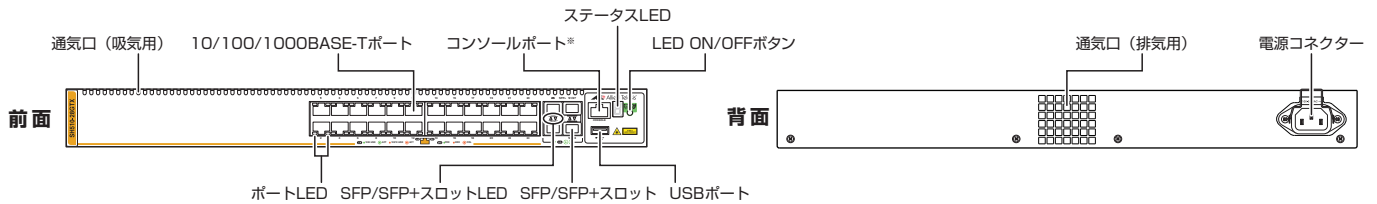
	【AT-SH510-28GPX】		【AT-SH510-52GPX】	
定格入力電圧	AC100-240V*21		AC100-240V*21	
入力電圧範囲	AC90-264V*21		AC90-260V*21	
定格周波数	50/60Hz		50/60Hz	
定格入力電流	3.0A (AC電源×1個)		3.0A (AC電源×1個)	
	AC電源×1個	AC電源×2個	AC電源×1個	AC電源×2個
最大入力電流 (実測値)*22	3.3A	6.0A	3.7A	6.3A
平均消費電力*22	160W (最大300W)	270W (最大540W)	180W (最大330W)	280W (最大560W)
平均発熱量*22	560kJ/h (最大1100kJ/h)	950kJ/h (最大1920kJ/h)	630kJ/h (最大1200kJ/h)	990kJ/h (最大2000kJ/h)
PoE	給電方式 オルタナティブA			
	最大供給電力 1ポートあたり		30W	
	装置全体		AC電源×2個	370W
			AC電源×1個	185W
環境条件	動作時温度 0~45°C			
	動作時湿度 80%以下 (結露なきこと)			
	保管時温度 -20~60°C			
	保管時湿度 95%以下 (結露なきこと)			
外形寸法	【AT-SH510-28GTX】 【AT-SH510-52GTX】		【AT-SH510-28GPX】 【AT-SH510-52GPX】	
	441 (W) × 323 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず)		441 (W) × 398 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず)	
質量	【AT-SH510-28GTX】		【AT-SH510-52GTX】	
	4.2kg		4.8kg	
	【AT-SH510-28GPX】		【AT-SH510-52GPX】	
	5.7kg		6.2kg	
パッケージ内容*11	【AT-SH510-28GTX / AT-SH510-52GTX】			
	本体、電源ケーブル*21、電源ケーブル抜け防止フック、19インチラックマウントキット(1式)、梱包内容、本製品をお使いの前に、英文製品情報*23、製品保証書(5年間)、シリアル番号シール(2枚)			
	【AT-SH510-28GPX / AT-SH510-52GPX】			
	本体、電源ケーブル(2本)*21、電源ケーブル抜け防止フック(2個)、19インチラックマウントキット(1式)、梱包内容、本製品をお使いの前に、英文製品情報*23、製品保証書(5年間)、シリアル番号シール(2枚)			
オプション(別売)	AT-SH510-FL16		SES Readyライセンス*18*24	
	SFP モジュール:			
	AT-SPTXa*25	1000BASE-T (RJ-45 コネクタ)		
	AT-SPSX	1000BASE-SX (2連LC コネクタ)		
	AT-SPSX2	1000M MMF (2km) (2連LC コネクタ)		
	AT-SPLX10	1000BASE-LX (2連LC コネクタ)		
	AT-SPLX40	1000M SMF (40km) (2連LC コネクタ)		
	AT-SPZX80	1000M SMF (80km) (2連LC コネクタ)		
	AT-SPBDM-A・B	1000M MMF (550m) (LC コネクタ)		
	AT-SPBD10-13・14	1000BASE-BX10 (LC コネクタ)		
	AT-SPBD40-13/1・14/1	1000M SMF (40km) (LC コネクタ)		
	AT-SPBD80-A・B	1000M SMF (80km) (LC コネクタ)		
	SFP+ モジュール:			
	AT-SP10T*26	10GBASE-T (RJ-45 コネクタ)		
	AT-SP10SR	10GBASE-SR (2連LC コネクタ)		
	AT-SP10LR	10GBASE-LR (2連LC コネクタ)		
	AT-SP10ER40/1	10GBASE-ER (2連LC コネクタ)		
	AT-SP10ZR80/1	10G SMF (80km) (2連LC コネクタ)		
	AT-SP10TW1*27	SFP+ダイレクトアタッチケーブル(1m)		
	AT-SP10TW3*27	SFP+ダイレクトアタッチケーブル(3m)		
	AT-SP10TW7*27	SFP+ダイレクトアタッチケーブル(7m)		
	AT-StackXS/1.0	カップースタックモジュール(1m)		
	AT-BRKT-J22	壁設置ブラケット		

コンソールケーブル*11:	
AT-VT-Kit3	マネジメントケーブル (RJ-45 (メス) / USB)
CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル(RJ-45/D-Sub 9ピン)
AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクタ電源ケーブル (左/右)*28

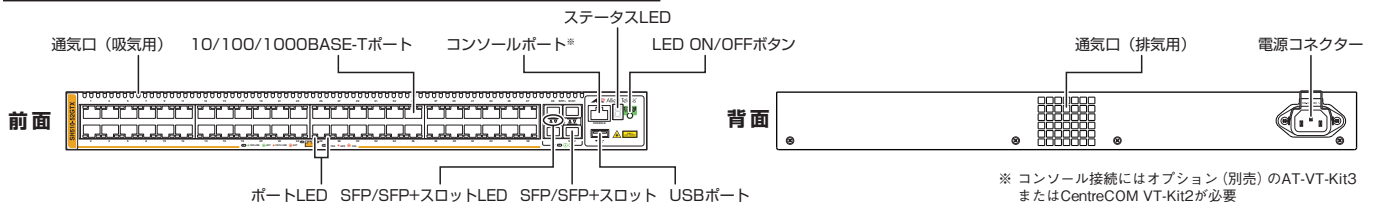
- ※1 対応SFPモジュール装着時
- ※2 対応SFP+モジュール装着時
- ※3 AT-SH510-28GPX / AT-SH510-52GPXのみ
- ※4 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- ※5 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- ※6 IEEE 802.3adと同等
- ※7 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※8 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- ※9 IPv4機能のみサポート
- ※10 AT-SH510-28GTX・AT-SH510-28GPXのポート27, 28、AT-SH510-52GTX・AT-SH510-52GPXのポート51, 52はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります。
- ※11 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネジメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください(AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※12 USB 2.0のUSBメモリをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※13 8線結線のストレートタイプのUTPケーブルをお勧めします。
- ※14 表中では、K=1024
- ※15 インターフェース経路、スタティック経路、ダイナミック経路など、各種経路情報を含めた登録数です。
- ※16 52ポート版(AT-SH510-52GTX、AT-SH510-52GPX)、およびVCS構成時は、PAUSEフレームの送信(both)はサポート対象外で、PAUSEフレームの受信(receive)のみをサポート
- ※17 13312Byte以下
- ※18 ファームウェアバージョン5.4.6-2.1以降にてサポート。サポートするSDNコントローラーは、AT-SecureEnterpriseSDN Controller (AT-SESC)です。本ライセンス適用時の、フロースイッチング制御以外の機能動作については、弊社ホームページに掲載のマニュアルおよびコマンドリファレンスをご確認ください。なお、ファームウェアバージョン5.4.7-0.x、5.4.7-2.xのそれぞれでライセンス形態が変更されています。5.4.6で発行されたライセンスキーは、ファームウェアバージョン5.4.7以降では使用できなくなります。また、5.4.7-0.x、5.4.7-1.xで発行されたライセンスキーは、5.4.7-2.x以降では使用できなくなります。SES Readyライセンスを適用されている場合、ファームウェアバージョンアップの際にはご注意ください。詳細はリリースノートをご確認ください。
- ※19 LED ON/OFFボタンによって消灯可能(エコLED)
- ※20 AT-SH510-28GTX / AT-SH510-52GTXのみ
- ※21 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※22 AT-SP10T×2個またはAT-SP10ZR80/1×4個 使用時
- ※23 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※24 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※25 1000Mでの接続のみサポートしています。
- ※26 10Gでの接続のみサポートしています。また、AT-SP10T使用時は上下左右に隣接するSFP/SFP+スロットを空きスロットにしてください。SFP/SFP+スロット4個のうち、半数のSFP/SFP+スロットにのみ搭載可能です。
- ※27 ダイレクトアタッチケーブルは、弊社製品同士での接続のみサポート対象となり、他社製品との接続はサポート対象外となります。他社製品との接続が必要な場合は、ダイレクトアタッチケーブル以外のSFP+モジュールを用いて、事前に充分な検証を行ったうえで接続するようにしてください。
- ※28 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

外觀図

AT-SH510-28GTX



AT-SH510-52GTX

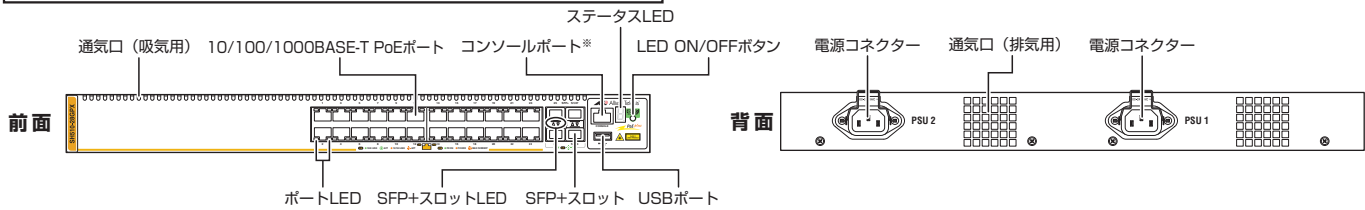


※ コンソール接続にはオプション(別売)のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要

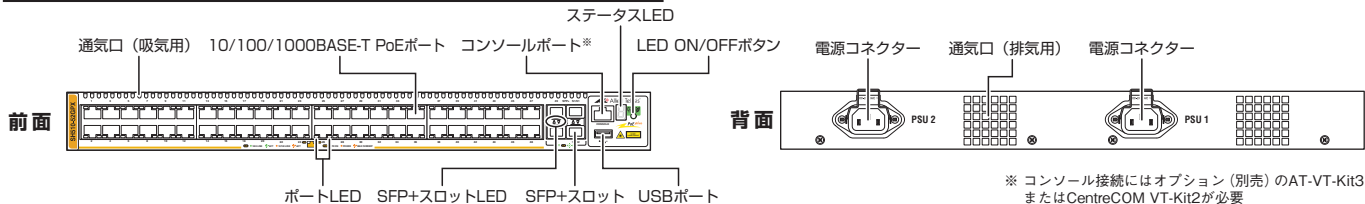
CentreCOM® Secure HUB SH510シリーズ

外觀図

AT-SH510-28GPX



AT-SH510-52GPX



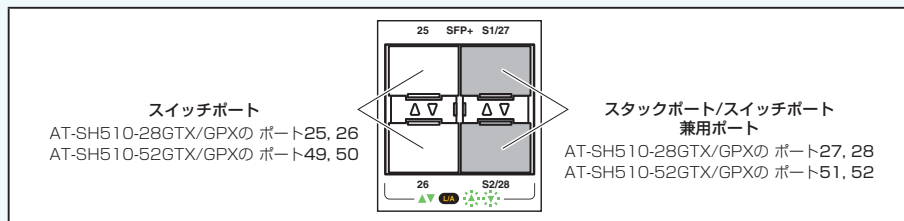
※ コンソール接続にはオプション (別売) のAT-VT-Kit3
またはCentreCOM VT-Kit2が必要

● SFP+スロットを利用したスタック接続 (VCS)

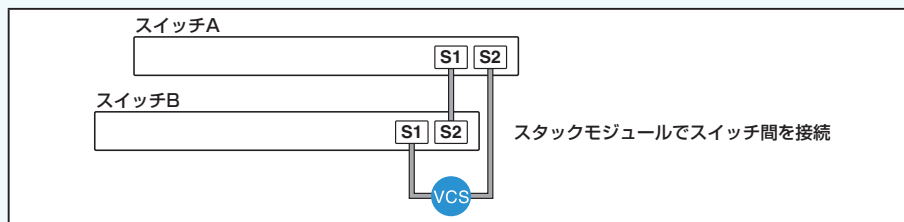
AT-SH510-28GTX/GPXのポート27, 28、AT-SH510-52GTX/GPXのポート51, 52はスタックポートとして使うか、拡張用のスイッチポートとして使うかを選ぶことができます。

CLI上で、VCS機能を有効に設定するとスタックポートに、無効に設定するとスイッチポートになります (VCS機能は初期設定で有効化されています。なお、有効・無効を設定変更するには、システムの再起動が必要になります)。

本製品のSFP+スロット (図はAT-SH510-28GTX)



VCS機能有効時、末尾の2ポートはスタックポート1 (S1), 2 (S2) となり、複数のスイッチをリング状に接続するためのポートとして動作します。スタックポートとして使用する場合は、オプション (別売) のスタックモジュールを装着してください。



※ VCSに関する詳細な情報は、弊社ホームページに掲載されています。ご使用の際は、必ずコマンドリファレンスの「パーチャルシャーシスタック (VCS)」をお読みになり内容をご確認ください。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアル
をお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」に非居住者へ提供する場合は、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内は様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などの
ご質問やご相談は
製品の詳しい情報は
(特長、仕様、構成図、マニュアル等)

0120-860442 テレマーケティング
(月～金/9:00～17:30)
ホームページ
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

販売店

アライドテレシス株式会社

最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第20Cビル 弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧